



内部質保証システムの 構築に向けて

- 神戸大学の事例 -

大学評価・学位授与機構国際セミナー

2012年11月22日

川嶋 太津夫

神戸大学





Building an Internal Quality Assurance System at Kobe University

NIAD International Seminar

22/11/2012

KAWASHIMA Tatsuo

Kobe University



神戸大学の概要



学部

→ 11

文学部、国際文化学部、発達科学部、法学部、経済学部、経営学部、理学部、医学部、工学部、農学部、海事科学部

大学院

→ 14

人文学研究科、国際文化学研究科、人間発達環境学研究科、法学研究科、経済学研究科、経営学研究科、理学研究科、医学研究科、保健学研究科、工学研究科、システム情報学研究科、農学研究科、海事科学研究科、国際協力研究科

専門職大学院

→ 2

法学研究科実務法律専攻(法科大学院)、経営学研究科現代経営学専攻(社会人MBA)

その他

附置研究所、附属病院、自然科学系先端融合研究環、機構、学内共同教育研究施設等

附属学校部

附属幼稚園、附属住吉小学校、附属明石小学校、附属小学校、附属中等教育学校、附属特別支援学校

学生数

11,861

4,356

341

計16,558

1,548

教職員数

3,437

教員:1,505
職員:1,813
(看護師含む)

教諭: 119

国立大学法人の中でも学部数は2番目に多く、学部学生数も5指に入る規模



(組織は平成24年4月1日、員数は平成24年5月1日現在)

Outline of Kobe University

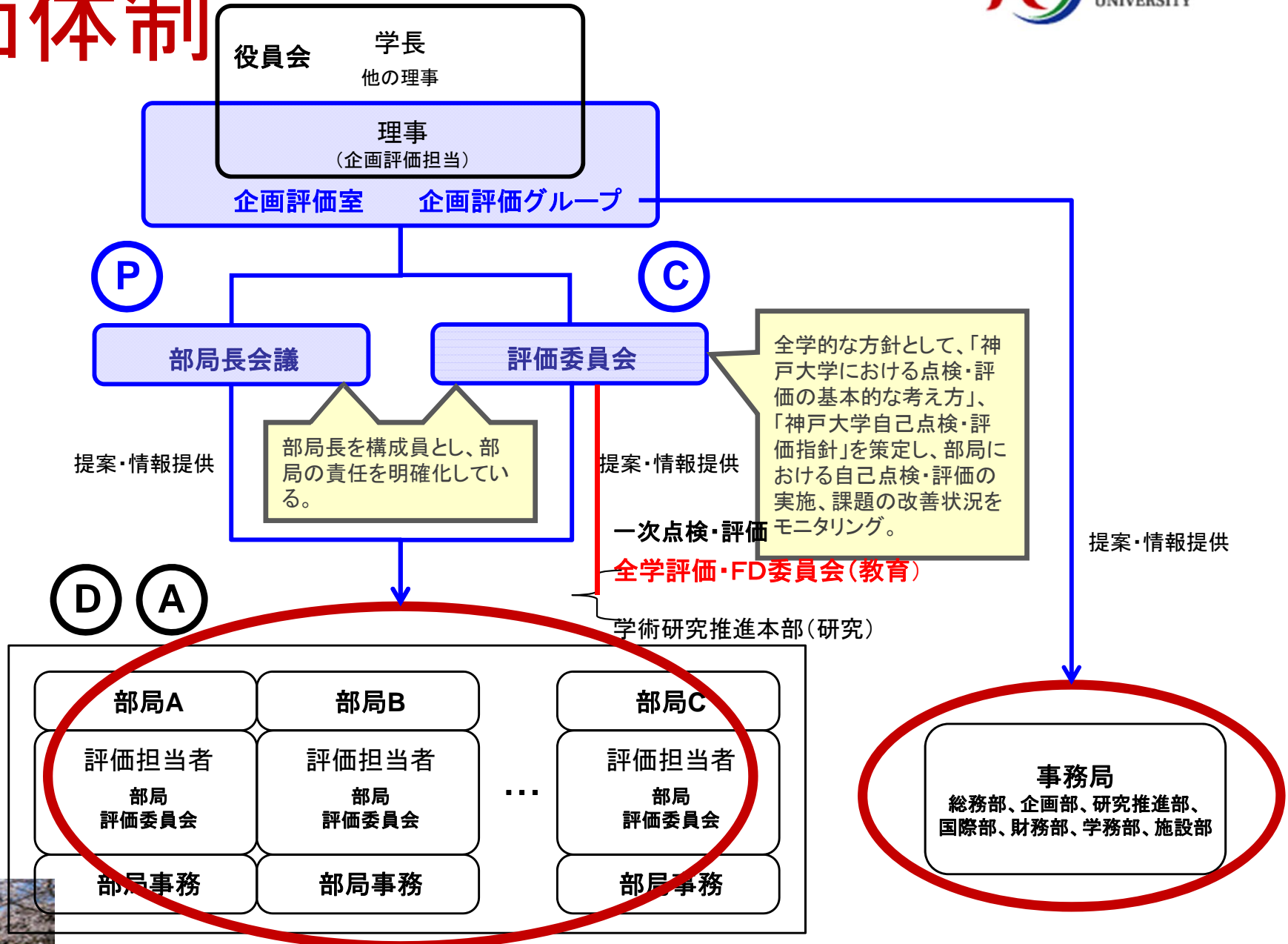


Statistics

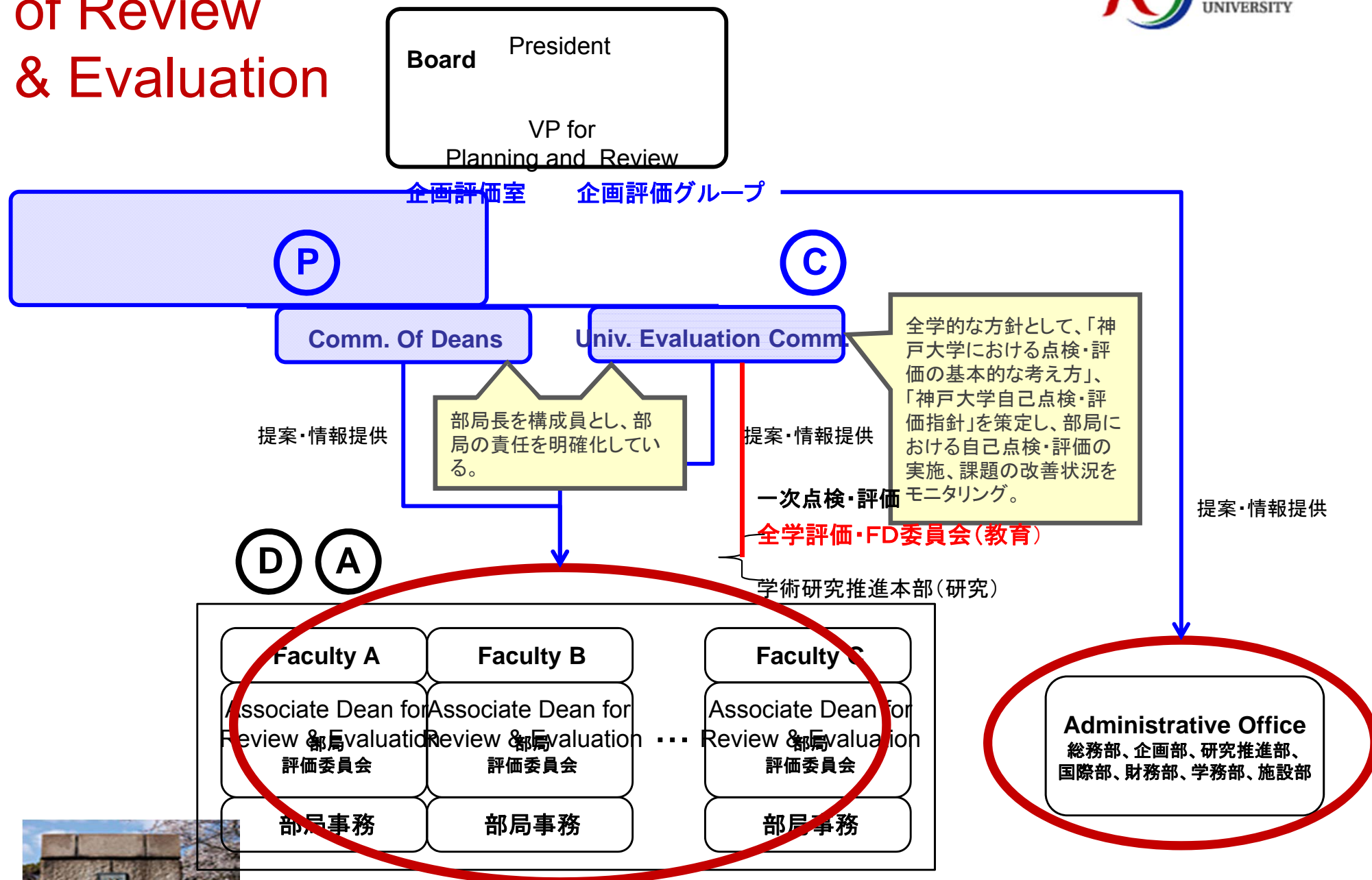
	Students	Staffs
11 Faculties/Schools	11,861	3,437 Teaching Staff 1,505 Administrative Staff 1,813 Faculty Staff in Attached School 119
14 Graduate Schools	4,356	
School of Law Program MBA Program	341	
Other Departments	Total 16,558	
Attached Schools	1,548	



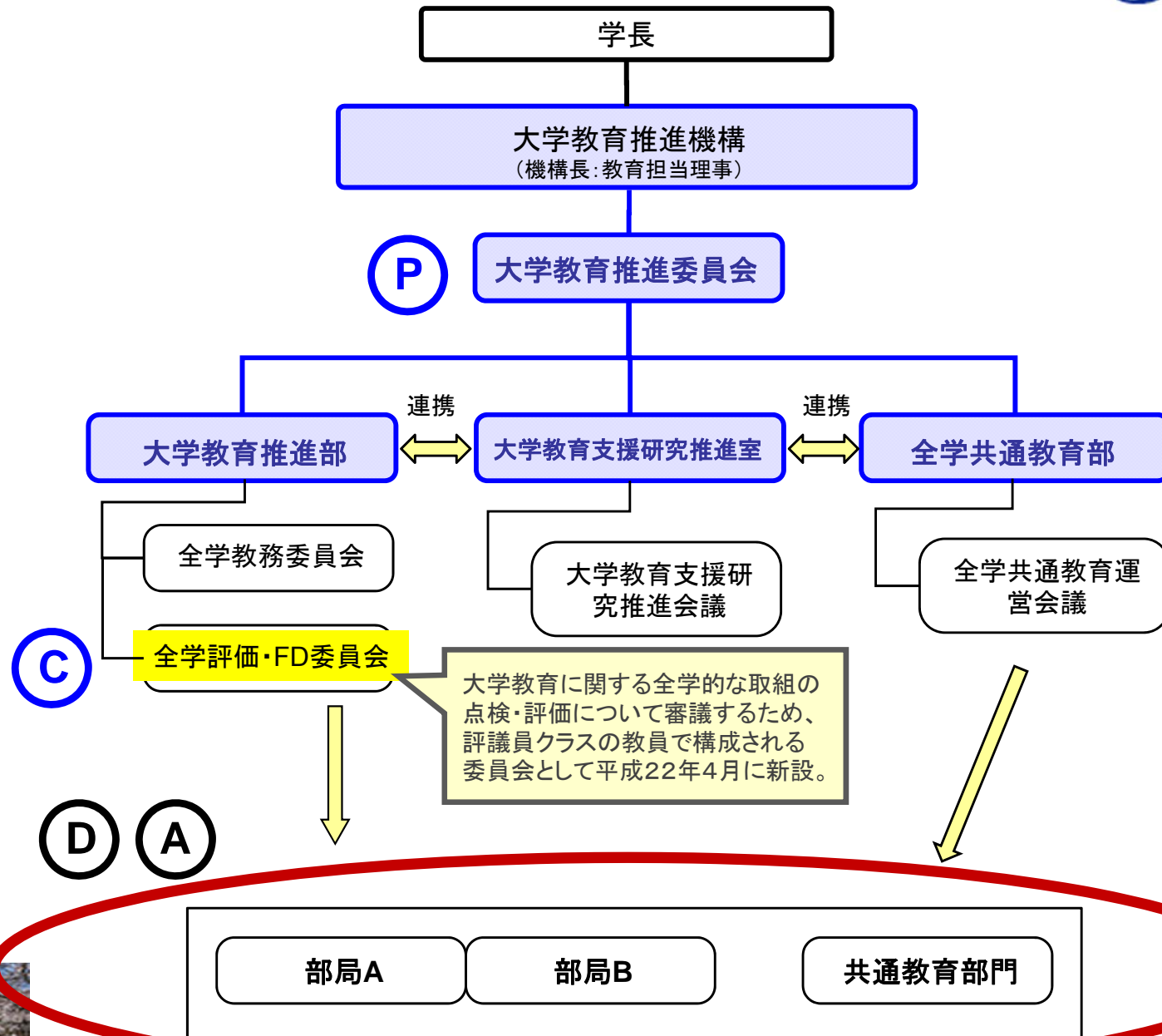
評価体制



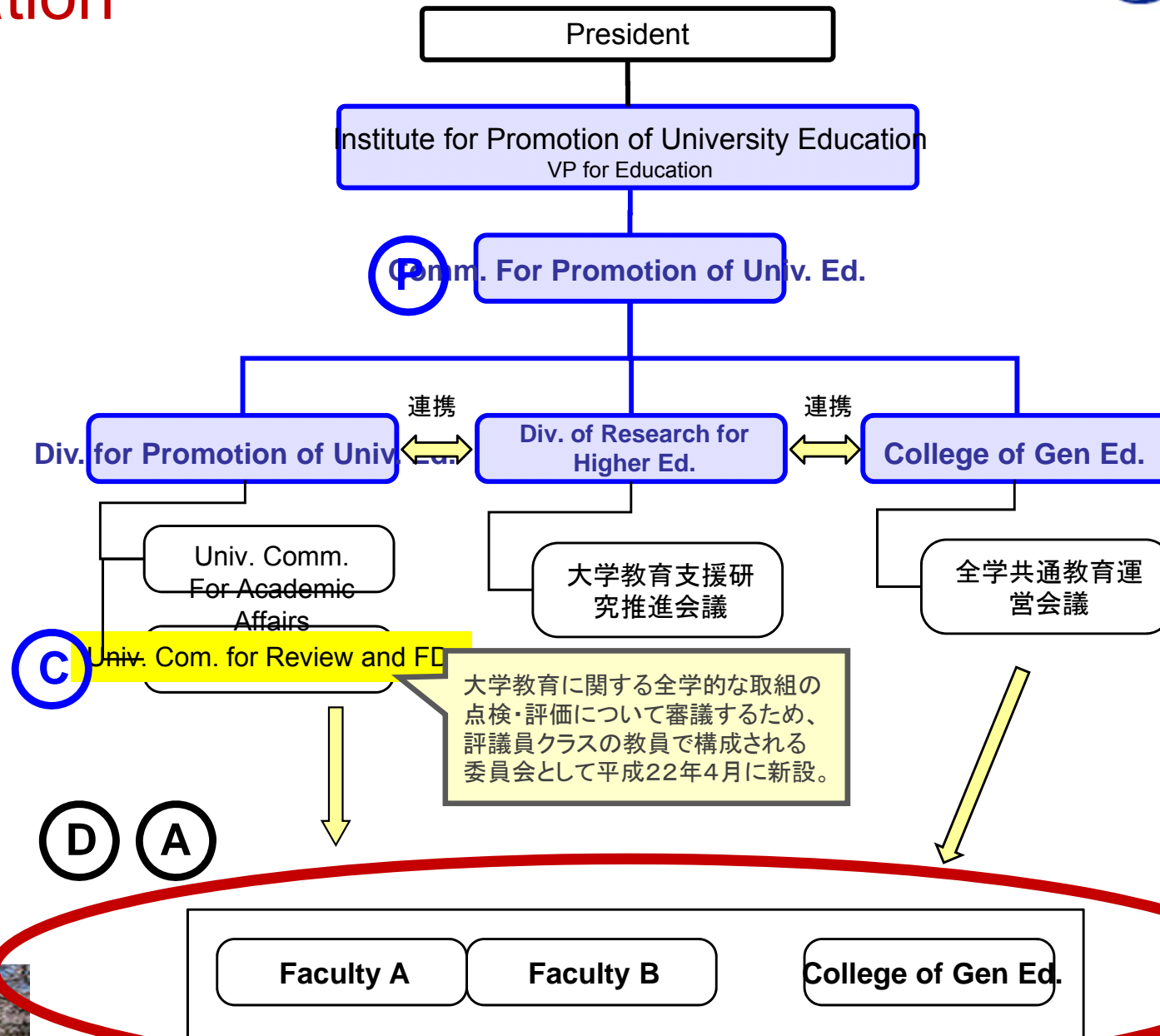
System of Review & Evaluation



教育の内部質保証システム



Internal Quality Assurance System for Education



質保証のための3つのポリシー



DP

神戸大学 学位授与の方針

CP

神戸大学 教育課程編成・実施
の方針

AP
※

神戸大学 教育の質向上のた
めの評価指標



※Assessment Policy(AP)

※教育情報の公表

http://www.kobe-u.ac.jp/campuslife/edu/education_info/index.html5

3 policies for Quality Assurance

DP

KU Degree Awarding Policy

CP

KU Curriculum Design Policy

AP
※

KU Review & Assessment Policy

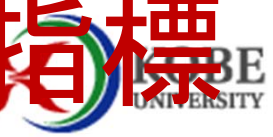


※Assessment Policy(AP)

※教育情報の公表

http://www.kobe-u.ac.jp/campuslife/edu/education_info/index.html5

教育の質向上のための評価指標 (セルフ・チェック表)



評価指標	評価の観点	エビデンス	自己評価
I 教育の目的に照らし、教育課程を体系的に編成する仕組みが用意されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ①教育の目的に適合したカリキュラムが編成され、必要に応じてカリキュラムマップやツリーが作成されているか。 ②単位の実質化に配慮したシラバスが作成されているか。 ③授業の目的に照らして、単位の実質化に配慮した成績評価基準が策定されているか。 		※ルーブリックを作成
II 教育の実践及び成果について組織的な検証が行われているか。	<ul style="list-style-type: none"> ①授業を評価する仕組みがあり、その結果について分析を行っているか。 ②卒業・修了時アンケートの結果について分析しているか。 ③卒業生や就職先へのアンケートや意見聴取等に基づき分析を行っているか。 ④学生生活実態調査の結果について分析を行っているか。 		
III 教育の状況について、点検・評価し、その結果に基づいて改善、向上を図る仕組みが用意されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ①評価結果に基づき、教育課程の見直し等の具体的かつ継続的な方策が講じられているか。 ②FDが、組織として適切な方法で実施され、教育の改善に反映されているか。 ③TA等教育支援者や教育活動を向上させるための取組がなされているか。 		

平成22年3月策定

Review & Assessment Policy



評価指標	評価の観点	エビデンス	自己評価
I. Alignment of Educational Goals and Curriculum	<ul style="list-style-type: none"> ①教育の目的に適合したカリキュラムが編成され、必要に応じてカリキュラムマップやツリーが作成されているか。 ②単位の実質化に配慮したシラバスが作成されているか。 ③授業の目的に照らして、単位の実質化に配慮した成績評価基準が策定されているか。 		※ルーブリックを作成
II. Assessment of Teaching and Learning	<ul style="list-style-type: none"> ①授業を評価する仕組みがあり、その結果について分析を行っているか。 ②卒業・修了時アンケートの結果について分析しているか。 ③卒業生や就職先へのアンケートや意見聴取等に基づき分析を行っているか。 ④学生生活実態調査の結果について分析を行っているか。 		
III. Review of Education & Improvement	<ul style="list-style-type: none"> ①評価結果に基づき、教育課程の見直し等の具体的かつ継続的な方策が講じられているか。 ②FDが、組織として適切な方法で実施され、教育の改善に反映されているか。 ③TA等教育支援者や教育活動を向上させるための取組がなされているか。 		



学習成果のアセスメント

評価対象	評価者	測定軸	測定手法
知識・理解	教員	直接	試験(客観式), 科目試験
		間接	成績, GPA, 単位取得, 留年・進学等
態度・技能	教員	直接	試験(口頭/論述式), 観察/パフォーマンス評価, 学習ポートフォリオ
	学生	間接	各種アンケート, 新入生/学生/卒業生調査
	学外者	間接	就職機関または企業等へのアンケート
全て	教員	直接	卒業論文, 研究, 作品制作
	学生・学外者	間接	進路状況

出典: 鳥居(2012), 山田(2011), 渋井他(2012)を参照。



Assessment of Student Learning

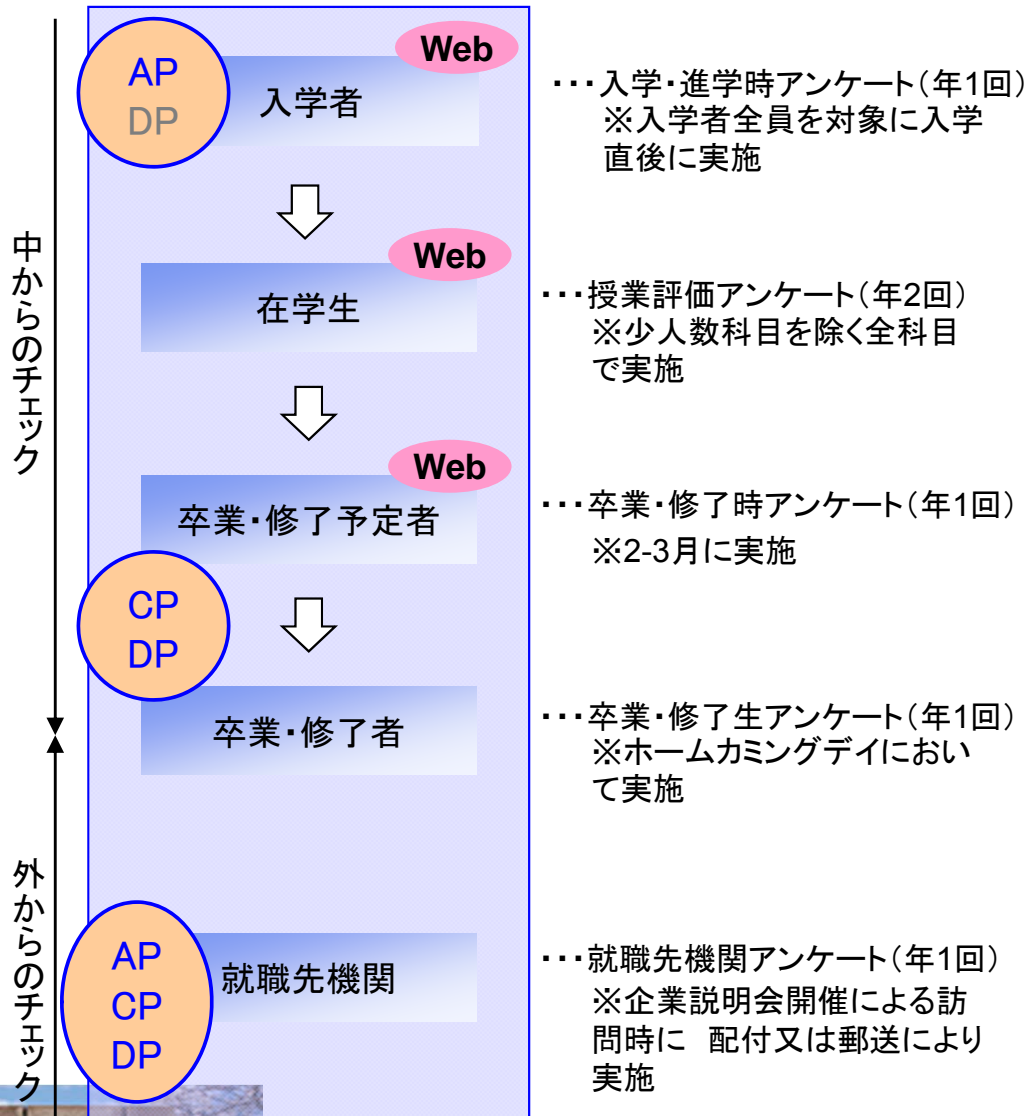


Domains	Assessor	Measurement	測定手法
Knowledge & Understanding	Faculty	Direct	Standardized Tests, Course Exam.
		Indirect	Grade, GPA, Credits Earned, Attrition
Attitude & Skills	Faculty	Direct	Oral/Written Exam, Observation/Performance Assessment, Learning Portfolio
	Students	Indirect	Surveys for Freshmen, Seniors & Alumni
	Employers	Indirect	Survey for Employers
All Outcomes	Faculty	Direct	Senior Thesis, Capstone
	Students, Employers	Indirect	Employment & Education after Graduation

出典：鳥居(2012), 山田(2011), 渋谷他(2012)を参照。



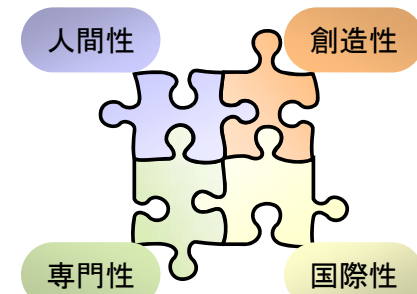
学習成果のアセスメント



神戸大学教育憲章で掲げている “養成しようとする人材像”

高い倫理性, 知性と感性が調和した豊かな教養

自ら課題設定, 創造的に解決できる能力



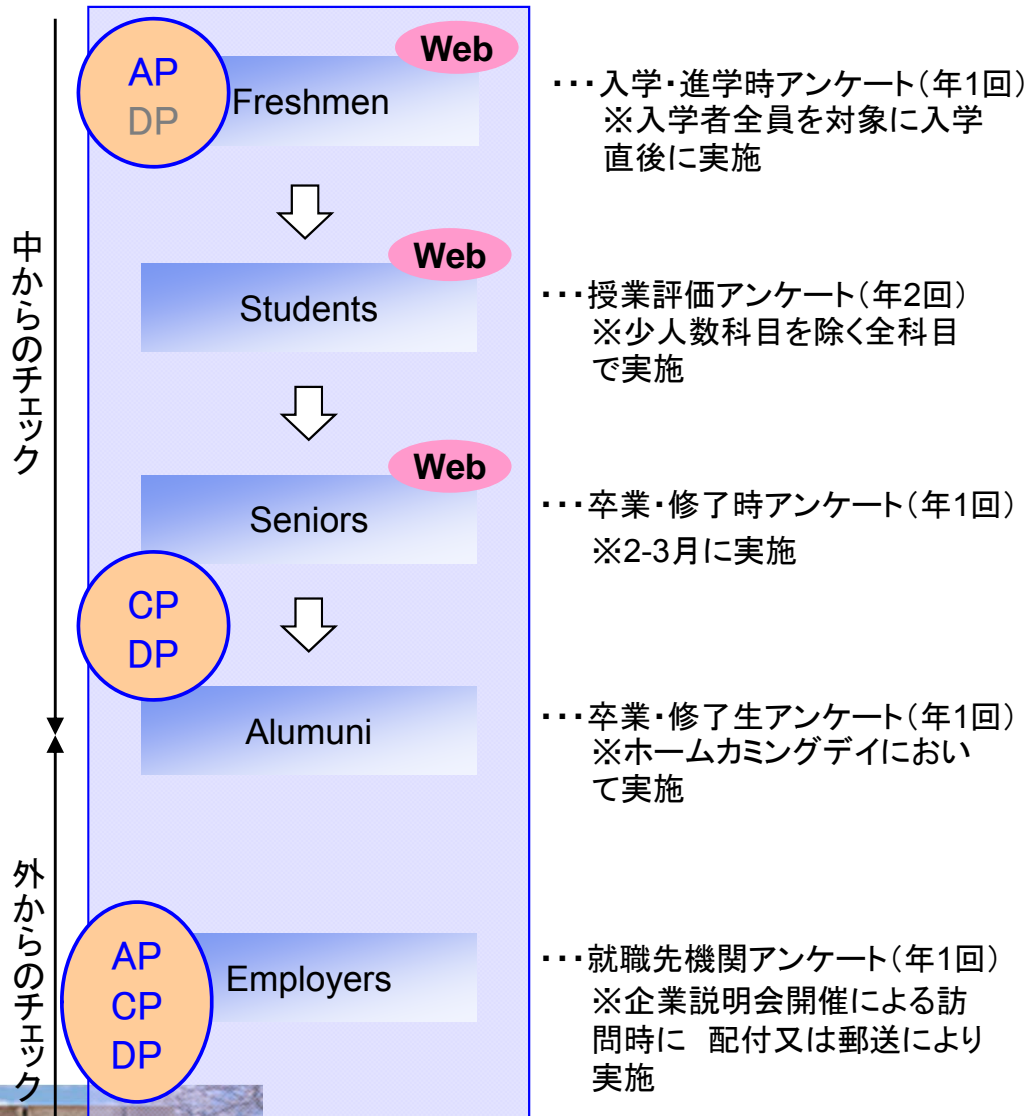
「養成しようとする人材」が育成できているか、どの場面が有効であったかを確認

深い学識, 高度な専門技能

多様な価値観を尊重, 異文化に対する理解, コミュニケーション能力



Assessment of Student Learning



各種アンケートの実施に係る工夫と成果



習得能力と獲得場面を確認することで、CPの妥当性を検証。

獲得場面	在学中に習得した能力									
	幅広い教養	専門知識・技能	英語等の外国語	総合的な見地	高い倫理観	課題設定・解決	コミュニケーション	価値観・異文化理解	プレゼンテーション	情報処理
1.全学共通の講義等	55 0.19	6 0.02	83 0.29	16 0.06	18 0.06	4 0.01	2 0.01	31 0.11	7 0.02	42 0.15
2. 専門教育の講義等	81 0.28	84 0.29	26 0.09	66 0.23	45 0.16	45 0.16	20 0.07	47 0.16	40 0.14	65 0.22
3.卒業研究	18 0.06	64 0.22	13 0.04	21 0.07	10 0.03	79 0.27	7 0.02	7 0.02	58 0.20	58 0.20
4.指導教員の直接指導	45 0.16	81 0.28	15 0.05	57 0.20	32 0.11	65 0.22	32 0.11	22 0.08	95 0.33	24 0.08
5.先輩からの指導	4 0.01	9 0.03	3 0.01	6 0.02	7 0.02	4 0.01	9 0.03	2 0.01	6 0.02	12 0.04
6.プロジェクト・共同研究	0 0.00	1 0.00	2 0.01	2 0.01	1 0.00	7 0.02	3 0.01	0 0.00	2 0.01	3 0.01
7.学生同士の勉強会等	3 0.01	1 0.00	1 0.00	5 0.02	7 0.02	2 0.01	17 0.06	14 0.05	9 0.03	0 0.00
8.学会や学外の研究会	5 0.02	1 0.00	3 0.01	1 0.00	1 0.00	2 0.01	2 0.01	4 0.01	3 0.01	0 0.00
9.課外活動への参加	40 0.14	5 0.02	9 0.03	61 0.21	65 0.22	49 0.17	120 0.42	65 0.22	15 0.05	10 0.03
10.社会活動への参加	6 0.02	0 0.00	5 0.02	6 0.02	16 0.06	4 0.01	17 0.06	13 0.04	3 0.01	0 0.00
11.その他	32 0.11	37 0.13	129 0.45	48 0.17	87 0.30	28 0.10	60 0.21	84 0.29	51 0.18	75 0.26



Where do students acquire LOs?

習得能力と獲得場面を確認することで、CPの妥当性を検証。

獲得場面	在学中に習得した能力									
	幅広い教養	専門知識・技能	英語等の外国語	総合的な見地	高い倫理観	課題設定・解決	コミュニケーション	価値観・異文化理解	プレゼンテーション	情報処理
1.全学共通の講義等	55 0.19	6 0.02	83 0.29	16 0.06	18 0.06	4 0.01	2 0.01	31 0.11	7 0.02	42 0.15
2. 専門教育の講義等	81 0.28	84 0.29	26 0.09	66 0.23	45 0.16	45 0.16	20 0.07	47 0.16	40 0.14	65 0.22
3.卒業研究	18 0.06	64 0.22	13 0.04	21 0.07	10 0.03	79 0.27	7 0.02	7 0.02	58 0.20	58 0.20
4.指導教員の直接指導	45 0.16	81 0.28	15 0.05	57 0.20	32 0.11	65 0.22	32 0.11	22 0.08	95 0.33	24 0.08
5.先輩からの指導	4 0.01	9 0.03	3 0.01	6 0.02	7 0.02	4 0.01	9 0.03	2 0.01	6 0.02	12 0.04
6.プロジェクト・共同研究	0 0.00	1 0.00	2 0.01	2 0.01	1 0.00	7 0.02	3 0.01	0 0.00	2 0.01	3 0.01
7.学生同士の勉強会等	3 0.01	1 0.00	1 0.00	5 0.02	7 0.02	2 0.01	17 0.06	14 0.05	9 0.03	0 0.00
8.学会や学外の研究会	5 0.02	1 0.00	3 0.01	1 0.00	1 0.00	2 0.01	2 0.01	4 0.01	3 0.01	0 0.00
9.課外活動への参加	40 0.14	5 0.02	9 0.03	61 0.21	65 0.22	49 0.17	120 0.42	65 0.22	15 0.05	10 0.03
10.社会活動への参加	6 0.02	0 0.00	5 0.02	6 0.02	16 0.06	4 0.01	17 0.06	13 0.04	3 0.01	0 0.00
11.その他	32 0.11	37 0.13	129 0.45	48 0.17	87 0.30	28 0.10	60 0.21	84 0.29	51 0.18	75 0.26



各種アンケートの実施に係る工夫と成果

- 全学共通項目によるアンケートを通じて全学部・研究科の状況を俯瞰
- 質問項目の選定、実施方法等の検討を一体的に行い、内部の課題把握のみならず各種評価において教育成果を示す根拠資料として活用
- 各種アンケートの評価結果は全般的に肯定的。在学中に習得した知識・スキルまたは態度についても、卒業・修了直後の学生、卒業・修了から一定年度を経た学生、さらには採用された機関等での評価が一致していることを確認
- 自由記述に係る質問項目のテキスト分析を行い、定量的な数値と定性的な情報を併せて提示

【改善例】

- 教育環境・設備、学内アメニティ等に対する否定的な評価結果を受け、平成19年度以降の耐震補強工事と併せてスペースの有効活用のための再配分を行い、平成21年度以降のアンケートにおいて、統計的に有意に上昇していることを確認
- 在学中にもっと身につけておくべき能力として「英語等の外国語能力」が一貫して多くの学生に選択されていたことを受け、その対策を検討。平成24年度からは大学負担で各学部において英語外部試験(TOEIC/TOEFL)の受験を促進



Outcomes from our efforts of self study



【Improvement based on the results of surveys from students】

- Many students have complained our learning environments for many years. As a result, we renovated classrooms and reading rooms in the library. After renovation, responses from students have significantly improved.
- Many alumni replied they should have learned more English, so that the University decided to invest more resources in teaching English.



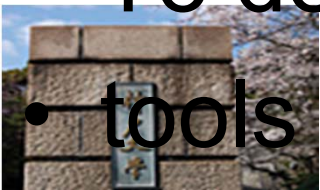
課題

- 学位プログラムの確立（教学マネジメント）
 - 「学内設置審」（プログラム新設、改廃の審査）
 - 「カリキュラム委員会（科目審査）」
 - プログラム詳述書（DP, CP, AP, AP）
- 定期的なプログラム・レビューの実施
- 目的としての評価から手段としての評価へ
- 学習成果の多様なアセスメント手法の開発と実践
 - 教育改善につながる評価（input-process-output-outcomes）



Challenges Ahead

- To establish academic management system based on “Degree Programs”
 - Comm. for Program Development
 - Curriculum Committee
 - Program Specifications
- To implement regular program review
- To buy-in faculty for review and assessment
- To develop more reliable methods/
 - tools to assess student learning





ご清聴ありがとうございました。
ご意見・ご質問は、
tatsuo@kobe-u.ac.jp
まで、お願いします。



神戸大学総合図書館

本報告の準備にあたり浅野茂准教授
(企画評価室)の協力を得ました。



Thank you for listening
and patience

tatsuo@kobe-u.ac.jp



Undergraduate Library

Acknowledgement:

I am grateful to Professor ASANO of the
Office for Planning and Evaluation.